

Festival of FILMS MONTE
第35回モントリオール世界映画祭
コンペティション部門正式出品作品
イノベーションアワード受賞

それでも、
遺されたのは未来。

親友の命を奪った彼。
かけがえのない命を守れなかった彼女。
遺品整理という命と向き合う現場で
2人は出会った――

アントキノイノチ

岡田将生 築倉奈々

松坂桃李 / 鶴見辰吾 熊 れい 染谷将太 / 柄本 明・堀部圭亮 吹越 満 津田寛治 宮崎 美子 / 原田 泰造

主題歌：GReeeeN「恋文〜サブタイトル〜」(OATYUTAWAVE RECORDS)
原作：さだまさし (20年命文庫) 監修：堀江敏久 企画プロデュース：平野 舞 下田淳行 脚本：田中幸子・堀江敏久 音楽：村松道雄
エグゼクティブプロデューサー：石川信雄 監製：堀江敏久 プロデューサー：上田信也 辻本 陽子 監製：堀江敏久 脚本：山田明伸 演出：堀江敏久 撮影：堀江敏久
VFXスーパーバイザー：山田 陽 脚本協力：中島 陽子 監製：山田明伸 製作担当：山下 陽子 共同プロデューサー：堀江敏久 協力プロデューサー：石川信雄 ラインプロデューサー：高田 孝幸
制作プロダクション：ワンエンジェルス 配給：松竹 映画 ©2017 アントキノイノチ 制作委員会 www.antoki.jp

「余命1ヶ月の花嫁」のスタッフが贈る感動作 11.19(土)ロードショー



松竹株式会社

松竹株式会社

代表取締役社長 迫本 淳一



平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
このたびの東日本大震災により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げますと共に、被災地の一日も早い復興をお祈りいたします。

さて、当社は第146期第2四半期連結累計期間（平成23年3月1日から平成23年8月31日まで）の事業活動を終了いたしましたので、業績並びに事業の概況につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、回復基調に戻りつつある途上で発生した東日本大震災による最悪期を脱しつつあるものの、欧米の財政不安を背景として戦後最高水準で推移する円高等の影響が甚大であり、景気は予断を許さない厳しい状況のまま推移しました。

映画業界は、震災が業界に影響を及ぼす中、邦画、洋画作品ともに、100億円を超えるヒット作品がなく、興行状況は、入場人員7,025万6千人（前年比83.2%）、興行収入855億200万円（前年比83.2%）と、前年を大きく下回りました。

演劇業界は、震災に伴う全国的な自粛ムードも徐々に収まり、落ち着きを取り戻しつつあるものの、被災した影響で中止となった公演もあり、震災以前からの不況傾向と相まって、歌舞伎、一般演劇問わず厳しい興行となりました。

不動産業界は、リーマンショックから立ち直った金融機関が昨年の後半から再び不動産融資に目を向け始める等、業界の景気回復が始まるかと思えた矢先に震災、原発事故が発生し、国内のみならず欧米やアジアの投資家の投資意欲が減退してしまい、不動産業界全体の先行きは不透明となりました。

このような状況下、当社グループはより一層の経営の効率化を図るとともに、節電という社会的要請にも取り組みながら、積極的な営業活動に努めて参りましたが、東日本大震災によって発生した損失及び投資有価証券評価損等を特別損失に計上した結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高36,827百万円（前年同期比85.4%）、営業利益502百万円（同27.5%）、経常損失249百万円（前年同期は経常利益1,023百万円）、特別利益103百万円、特別損失3,055百万円を計上し、四半期純損失2,498百万円（前年同期は四半期純利益372百万円）となりました。

なお、当社の中間配当につきましては、通期業績に不透明要因が残ることから、誠に遺憾ながら見送らせていただきます。

以下、事業別の概況をご報告申し上げます。

映像関連事業

【配給】邦画4本、洋画1本、アニメ2本、シネマ歌舞伎1本、METライブビューイングとバラエティに富んだ作品を公開しました。期首は、3月11日に起きた東日本大震災の影響で十分な宣伝活動ができず、また、「唐山大地震」想い続けた32年」の公開を延期したこともあり苦戦しました。しかし、ゴールデンウィーク以降は映画館にもお客様が戻り始め、「八日目の蟬」を筆頭に、「さや侍」「こちら葛飾区亀有公園前派出所 THE MOVIE ～勝どき橋を封鎖せよ！～」等の作品が健闘しました。また、第35回モントリオール世界映画祭で、来期公開予定の「わが母の記」が審査員特別グランプリを、本年11月19日公開の「アントキノイノチ」がイノベーションアワードをダブル受賞しました。

【興行】本年3月1日付で当社の映画興行部門を分割して100%連結子会社の㈱松竹マルチプレックスシアターズに統合し、より効率の高い運営に努めました。当社配給作品に加え、「パイレーツ・オブ・カリビアン 生命の泉」、シリーズ最終章の後編となる「ハリー・ポッターと死の秘宝 PART2」等の洋画期待作を上映し、好成績を収めました。また、5月4日には㈱松竹マルチプレックスシアターズが幹事である関西最大級の都市型シネコン「大阪ステーションシティシネマ」（共同事業体）がオープンし、高稼働しました。

【テレビ制作】テレビ映画では、人気シリーズの「赤かぶ検事奮戦記4」、新シリーズの「司法教官」「京都殺人調書」、

スペシャル時代劇「鬼平犯科帳」、映画のリメイク作品である「幸福の黄色いハンカチ」、終戦企画である「犬の消えた日」等、6作品6本を制作しました。

【映像版權】＜DVD・ブルーレイディスク販売＞劇場公開作品である「武士の家計簿」、テレビアニメシリーズの「戦国BASARA式」「夢色パティシエール」「べるぜバブ」や、他社配給作品等を販売した他、旧作を新たにブルーレイディスクで販売しました。また、前期に引き続き出版社と共同して「小津安二郎名作映画集」「鬼平犯科帳DVDコレクション」「男はつらいよ 寅さんDVDマガジン」を書籍ルートで販売しました。＜放送権販売＞「男はつらいよ 純情篇」「幸福の黄色いハンカチ デジタルリマスター版」「母べえ」「築地魚河岸三代目」「釣りバカ日誌19ようこそ！鈴木建設御一行様」等、18作品23本を販売しました。

【CS放送】今年20周年を迎える連結子会社の㈱衛星劇場にて、「20周年プロジェクト」と題し、邦画をますます充実させる他、日本初放送となる海外の大ヒットドラマの放送や歌舞伎の放送をスタートさせる等、番組編成を強化しました。

演劇事業

【新橋演舞場】3月公演中に被災し、公演中止等大きな影響を受けましたが、6月頃から徐々に落ち着きを取り戻しました。特に、「七月大歌舞伎」は市川海老蔵の復帰が話題となり、大きな成果を収めました。



「八日目の蟬」
©2011映画「八日目の蟬」製作委員会



「こちら葛飾区亀有公園前派出所 THE MOVIE
～勝どき橋を封鎖せよ！～」
©映画「こちら葛飾区亀有公園前派出所 THE MOVIE」
製作委員会



新橋演舞場平成23年7月
「勸進帳」
©松竹株式会社

■ 上半期の概況

【大阪松竹座】昨年に引き続き上演した「團菊祭五月大歌舞伎」や恒例の「七月大歌舞伎」「関西ジャニーズJr. 大阪松竹座 夏8月特別公演」が好稼働しました。

【南座】「坂東玉三郎舞踊公演」が好評を博した他、初めての試みである「歌舞伎ミュージアム」を開催し、話題を集めました。

【その他の松竹公演】《日生劇場》滝沢秀明主演による「滝沢歌舞伎」が昨年と同様に話題を集め、好成績をあげました。《シアターコクーン》「^{かみかけてさんごたいせつ}盟三五大切」が高い舞台成果をあげ、話題を集めました。《明治座》5月に16年ぶりの歌舞伎公演「五月花形歌舞伎」を製作し、好稼働しました。

【シネマ歌舞伎・METライブビューイング・その他】《シネマ歌舞伎》歌舞伎座さよなら公演の中でも話題を集めました「女殺油地獄」を上映し、好評を博しました。《METライブビューイング》「イル・トロヴァーレ」「ニーベルングの指環 ワルキューレ」等7演目を上映し、震災の影響も少なくない中、昨シーズンを超える興行収入をあげました。《その他》歌舞伎座さよなら公演の舞台収録映像は全8巻のDVDブックとして全国の書店等で発売され、好調な売れ行きをみせました。



大阪松竹座平成23年7月
「三味線やくざ」
©松竹株式会社



ダイヤモンドターン
©松竹株式会社



松竹歌舞伎屋本舗
©松竹株式会社

不動産事業

不動産賃貸は、新宿松竹会館、築地松竹ビル（ADK松竹スクエア）、大船の松竹ショッピングセンター、昨年稼働を開始した松竹倶楽部ビル、新木場倉庫等の効率的運営に努め、安定収入の確保に貢献しました。東劇ビルもテナントの退出、入居がありましたが、高稼働が続いています。また、有楽町センタービルの西武百貨店の原状回復工事及び退店が完了し、新規テナントであるルミネ有楽町店の内装工事を本年10月28日オープンに向けて開始しました。

その他の事業

《プログラム・キャラクター商品》「パイレーツ・オブ・カリビアン ^{いのち}生命の泉」「ハリー・ポッターと死の秘宝 PART2」「鋼の錬金術師 嘆きの丘の聖なる星」「劇場版 戦国 BASARA -The Last Party-」等の販売が好調な成績を収めました。

《イベント事業》シリーズ最終作となる映画の公開に合わせた「ハリー・ポッター グッズコレクション」、昨年から引き続き行われている「わが心の歌舞伎座展」等従来のコンテンツに加え、新規に大井競馬場付常飲食施設「ダイヤモンドターン」の運営や東京駅地下街に歌舞伎商品の販売店「松竹歌舞伎屋本舗」の開業し、売上も好調に推移しました。

■ 今後の見通し

今後のわが国の経済は、この度の東日本大震災で国民生活や生産活動に大きな影響が生じたため、持続的な景気回復が不透明となっており、先行きは依然として厳しい状況になると予想されます。

当社グループは、企業価値を高め、幅広い世代のお客様に喜んでいただける映像・演劇コンテンツを創造して参ります。そのためには新たな取り組みや更なるコスト削減を実施するとともに、コンテンツの充実を図ることにより、利益の向上を目指します。また、社会から信頼される企業に向かって、コンプライアンス経営の強化に取り組み、企業価値の更なる向上に鋭意努力して参ります。

更に当社グループの中核事業である映像・演劇事業の予想と実績の乖離が大きいという特性を踏まえ、収益基盤の安定化を図るよう、事業を展開して参ります。

《映像関連事業》映画製作につきましては、これまで以上に、企画の調達・選別力を強化するとともに、優れたパートナーとの連携を深め、時代のニーズをとらえた作品の提供に努めながら、一本一本丁寧な営業・宣伝・販売活動に邁進して参ります。小津安二郎監督の「東京物語」にオマージュを捧げる作品である「東京家族」は、震災により4月クランクイン予定が1年延期となりましたが、2012年早期クランクインを目指し、調整に入って参ります。

映画興行につきましては、連結子会社の㈱松竹マルチプレックスシアターズにて、邦画・洋画の話題作、期待作を公開して参ります。また、撮影日数の縮小やプリント複製・搬送費用の削減、映写室のスタッフ削減による効率的な運営のために、デジタル映写機及び3D機器の導入設置に邁進して参ります。

《演劇事業》歌舞伎公演を中心に、お客様に劇場へ足を運んでいただくために各演劇公演を充実させて参ります。三代目中村又五郎襲名・六代目中村勘九郎襲名などの話題の歌舞伎公演を上演する新橋演舞場とともに、11月から来年5月まで平成中村座の長期公演を行い、歌舞伎の人気を盛り上げて参ります。



「一命」
©2011 映画「一命」製作委員会



平成24年3月南座
「中村歌昇改め三代目中村又五郎襲名披露、中村種太郎改め四代目中村歌昇襲名披露 三月大歌舞伎」
©松竹株式会社

また、『山田洋次監督50周年プロジェクト』の一環として、来年1月には三越劇場において「東京物語」を山田洋次監督の脚本・演出の元、上演します。シネマ歌舞伎は「熊谷陣屋」の他、泉鏡花作、坂東玉三郎演出・出演作品の「天守物語」「海神別荘」「高野聖」を2012年新春に3作連続で上映します。また、METライブビューイングは「ニーベルングの指環 ギークフリート」「神々の黄昏」「ドン・ジョヴァンニ」「椿姫」など11演目を上映し、バリエーションに富んだ演劇を提供して参ります。

《不動産事業》オフィス賃貸低迷、商業施設の不況の中、各テナントとの厳しい交渉が続くこととなりますが、これまで以上に業界の動向に関わる広範かつ的確な情報入手に注力し、テナント戦略を創意工夫して参ります。

更に、歌舞伎座の建替え計画につきましては、2013年春竣工に向けて建設工事が続いております。新しい歌舞伎座で、歌舞伎が次代に向け継承・発展し、更に新たな日本の文化発信拠点として寄与すべく、今後とも工事監理をするとともに、高い耐震性能と自家発電設備を有したオフィスビルとしてテナントの営業活動に邁進して参ります。また新しい歌舞伎座は、災害発生時には一時避難場所となるよう、地下広場・劇場客席を合わせ、約3,000人を収容できる施設にする予定です。

《その他の事業》景気動向の不透明感から依然として一般顧客の買い控え傾向が続く中、刻々と変化する顧客ニーズ及びマーケットへの迅速な対応を重点に置き、より多くのお客様に喜んでいただけるプログラム、キャラクター商品の提供に努めて参ります。またイベント事業に関しては、上期に引き続き「わが心の歌舞伎座展」を全国各所で開催する他、新規開業し好調であった「ダイヤモンドターン」「松竹歌舞伎屋本舗」も継続して運営して参ります。例年販売している松竹カレンダーについては、前年より良いものをご提供できま

すよう、テーマや企画を練り直し作成して参ります。
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。



ルミネ有楽町店

連結財務諸表

連結貸借対照表（要旨）

（単位：千円）

科 目	当第2四半期末 (平成23年8月31日)	前期末 (平成23年2月28日)
資 産 の 部		
流動資産	31,230,340	33,937,999
固定資産	142,024,457	136,935,122
有形固定資産	104,045,433	104,108,897
無形固定資産	1,941,157	2,151,647
投資その他の資産	36,037,867	30,674,578
繰延資産	32,142	41,974
資産合計	173,286,940	170,915,097
負債の部		
流動負債	27,653,098	25,670,837
固定負債	80,951,455	77,739,821
負債合計	108,604,554	103,410,659
純資産の部		
株主資本	64,513,067	67,426,535
資本剰余金	33,018,656	33,018,656
資本剰余金	30,066,711	30,066,711
利益剰余金	2,688,429	5,595,232
自己株式	△ 1,260,729	△ 1,254,064
評価・換算差額等	328,187	136,707
その他有価証券評価差額金	328,187	136,707
新株予約権	—	71,712
少数株主持分	△ 158,868	△ 130,517
純資産合計	64,682,386	67,504,437
負債・純資産合計	173,286,940	170,915,097

連結損益計算書（要旨）

（単位：千円）

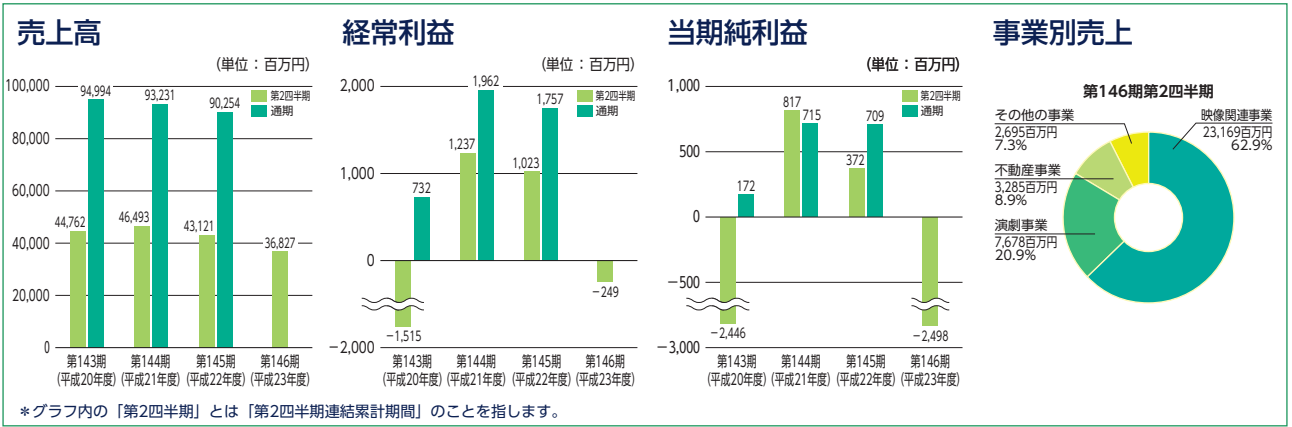
科 目	当第2四半期累計期間 (平成23年3月1日から 平成23年8月31日まで)	前第2四半期累計期間 (平成22年3月1日から 平成22年8月31日まで)
売上高	36,827,768	43,121,481
売上原価	21,625,730	24,167,602
売上総利益	15,202,037	18,953,878
販売費及び一般管理費	14,699,707	17,124,668
営業利益	502,330	1,829,209
営業外収益	295,453	290,689
営業外費用	1,046,811	1,096,181
経常利益又は損失(△)	△ 249,027	1,023,717
特別利益	103,610	107,709
特別損失	3,055,018	102,524
税金等調整前四半期純利益又は損失(△)	△ 3,200,435	1,028,902
法人税、住民税及び事業税	118,888	112,155
法人税等調整額	△ 793,746	564,488
法人税等合計	△ 674,857	676,644
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△ 2,525,577	—
少数株主損失(△)	△ 27,322	△ 20,020
四半期純利益又は損失(△)	△ 2,498,255	372,278

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：千円）

科 目	当第2四半期累計期間 (平成23年3月1日から 平成23年8月31日まで)	前第2四半期累計期間 (平成22年3月1日から 平成22年8月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 200,024	3,576,085
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,679,168	△ 22,049,141
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,214,625	16,377,207
現金及び現金同等物の増減額	△ 3,664,567	△ 2,095,848
現金及び現金同等物の期首残高	15,989,916	18,127,921
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△ 39,176	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,286,171	16,032,073

連結決算ハイライト



多彩な歌舞伎興行をお贈りする新橋演舞場



©松竹株式会社



©松竹株式会社



©松竹株式会社



©松竹株式会社

昨年の四月の歌舞伎座閉場にともない、新橋演舞場は、歌舞伎興行の本拠地として、歌舞伎を上演しております。そして本年九月興行「秀山祭九月大歌舞伎」において、中村歌昇改め三代目中村又五郎、中村種太郎改め四代目中村歌昇襲名披露を行い、新橋演舞場で初となる歌舞伎の襲名興行となりました。公演に先立ち、八月下旬には、歌舞伎に大変所縁のある浅草寺にてお練りを行い、当日お越しい頂いた約一万人という沿道の皆様に温かく力強いご声援を頂きました。本興行も、襲名に相応しく華やかな演目と豪華な配役で、大盛況のうちに千種楽を迎えました。

これからも新橋演舞場では、御来場頂くお客様はもちろん、劇場近辺を散策される方々にも、多彩な歌舞伎公演の常設劇場としての賑いを創出いたして参ります。



©2011 「RAILWAYS2」 製作委員会

【レイルウェイズ】 RAILWAYS 愛を伝えられない大人たちへ

人生は鉄道に乗った旅のようー。2010年のヒット作「RAILWAYS 49歳で電車の運転士となった男の物語」。その好評を受けて、シリーズ第2弾が誕生しました。

今作の舞台は富山地方鉄道。北アルプスを望む美しい風景を舞台に、定年を機に、これからの人生は妻のためにと思っていた夫と、これからは自分の人生を生きたいと願った妻とのすれ違う夫婦の想いや迷いが、描かれます。

鉄道運転士の夫役には、主役から味わい深い脇役まで様々なジャンルの作品に続々と出演し、日本映画界には欠かせない存在となっている三浦友和。妻役には、親しみやすさと凛とした美しさをあわせ持ち、同性からの圧倒的な支持を集める余貴美子。実力派俳優が、すれ違う夫婦の想いを演じるだけでなく、共に、脚本や撮影の段階で、同世代ならではの目線から様々な意見を出すなど、思いを込めて取り組んだ作品でもあります。

今、こんな時代だからこそ、人と人の絆を確かめたいー大切な人の手を離さずに、これからの人生を輝いて生きたいと願うすべての大人たちへ、勇気と希望を贈ります。ご期待ください！



©2011 「RAILWAYS2」 製作委員会

三浦友和 余貴美子
小池栄子 中尾明慶 吉行和子

製作総指揮：阿部秀司 監督：蔵方政俊
脚本：小林弘利／ブラジリィー・アン・山田
音楽：Nick Wood 主題歌：松任谷由実「夜明けの雲」
配給：松竹

2011年12月3日(土) 全国ロードショー

東日本大震災に対する取り組み

松竹グループが東日本大震災という国難に際してできることは、傷つき、疲弊した人々が心を慰められ、勇気や元気を取り戻していただけるような、演劇や映画を提供していくことだと考えます。それは「困難な立場の人々への応援歌であれ」という松竹の伝統でもあります。当社グループでは、被災された方々に向けて、笑顔を取り戻していただくために、松竹ならではの震災への取り組みをスタートさせております。

松竹グループの取り組み

演劇

震災直後より日本俳優協会と協力して「東日本大震災チャリティー実行委員会」を設置し、俳優の方々とともに様々なチャリティー活動を推進しています。7月29日には「東日本大震災 復興支援 歌舞伎チャリティー公演」を新橋演舞場で実施し、売上金を義援金として寄附しました。また、5月以降の新橋演舞場での公演には、関係各社の協力を得て東京近郊に避難されている被災者の方々を無料でご招待しています。



東日本大震災 復興支援
歌舞伎チャリティー公演

松竹芸能新宿角座でのチャリティー
ライブ



陸前高田「幸福の黄色いハンカチ」
上映会



地元の方々と共に、今秋放送予定の「幸福の黄色いハンカチ」のスペシャルドラマで使用した柱を立てて38枚の黄色いハンカチを掲げました。

映像

「寅さん基金」プロジェクトを立ち上げ、被災地の避難所でも映画を見られるよう当社保有の映画DVDなどを寄贈することを初めとして、チャリティー上映会、被災地無料上映会を実施しています。また、当社グループのシネコンであるMOVIXで「男はつらいよ」シリーズ、「幸福の黄色いハンカチ デジタルリマスター版」「釣りバカ日誌20 ファイナル」「エクスペンダブルズ」「京都太秦物語」のチャリティー上映を開催しました。8月下旬から来年3月までシネマエール東北と共同で、岩手・宮城・福島3県内にて無料上映を実施しています。

その他

直営レストラン「Tsukiji kitchen」では、福島県二本松の避難所にいる200人の避難者に向け、ピーフシチュー等の炊き出しを実施した他、東京都内に避難されている被災者の方々への浅草観光ツアーなイベントに協力し、当社グループが保有するパンダバスを提供しました。松竹芸能新宿角座では、所属タレントによる無料のチャリティーライブを実施し、募金箱に集まった募金を被災地に寄附しました。また、3月19日から5月8日まで、当社グループが運営する映画館・演劇劇場並びに当社グループ各社事業所内にて、お客様と役員・従業員に向けた募金活動を実施し、義援金として寄附しました。



パンダバス

今後とも当社はお客様と従業員の安全を第一に、節電という社会的要請にも精一杯協力し、また上記のような、被災者の方々に向けたチャリティー活動にも継続して長期的に取り組みながら、引き続き良質のコンテンツの提供に努めて参ります。

©松竹株式会社、松竹芸能株式会社、株式会社松竹サービスネットワーク

会社の概要

商号

松竹株式会社

設立

大正9年11月

資本金

33,018,656,642円

従業員数

539名

本社、支社および営業所

本社

東京都中央区築地四丁目1番1号

電話

03-5550-1533 (総務課)

関西支社 (大阪)

九州営業所 (福岡)

当社ホームページ

<http://www.shochiku.co.jp/>

役員

代表取締役会長

大谷信義

代表取締役社長

迫本淳一

専務取締役

安孫子正厚

常務取締役

中島厚

常務取締役

細田光人

取締役相談役

上條清文

取締役

武中雅人

取締役

井手良樹

取締役

大角正

常勤監査役

岡田敏明

監査役

中川勝弘

監査役

鈴木茂晴

監査役

牛島信

グループ会社一覧

連結子会社

- 松竹衣裳 (株)：舞台衣裳等の製作・販売・賃貸
- 松竹サービスネットワーク (株)：映画関連グッズの販売、各種イベントの企画製作および運営、不動産管理・清掃、フラワー事業、損害保険の代理、警備、旅行業者代理業
- 松竹関西サービス (株)：不動産管理・清掃
- ショウビズスタジオ (株)：舞台、映画、テレビ、ラジオの番組企画・製作並びに音響効果の企画・製作・再生
- 中映 (株)：浅草中映劇場他4スクリーンの映画館運営
- 松竹芸能 (株)：タレント・俳優の養成並びにマネージメント、演劇・テレビドラマ・イベントの企画・製作
- 衛星劇場 (株)：CS・CATV放送、ソフト製作・編集【衛星劇場・ホームドラマチャンネル】
- 松竹撮影所 (株)：劇場用映画・テレビ映画の製作、短編・CM映画の製作並びに請負
- 松竹映像センター (株)：映像制作、編集およびDVDオーサリング
- 松竹マルチプレックスシアターズ (株)：複合映画館（シネマコンプレックス）の開発・運営
- 松竹音楽出版 (株)：映画音楽の制作並びに音楽著作権の管理
- 歌舞伎座舞台 (株)：演劇舞台の大道具製作・販売
- 関西美術 (株)：演劇舞台の小道具製作・賃貸
- 日本演劇衣裳 (株)：舞台衣裳等の製作・販売・賃貸
- 松竹エンタテインメント (株)：俳優・芸能タレント・音楽家・スポーツ選手・アーティストの育成並びにマネージメント
- 匿名組合築地ビルキャピタル：ADK松竹スクエアの賃貸借および管理
- KSビルキャピタル特定目的会社：資産流動化法に基づく特定資産（歌舞伎座建替え計画におけるオフィス部分）の開発・賃貸借・管理に係る業務

持分法適用会社

- サンシャイン劇場 (株)：サンシャイン劇場の賃貸、演劇・映画の興行他
- 札幌シネマフロンティア (株)：複合映画館「札幌シネマフロンティア」（12スクリーン）の運営
- イヤホンガイド (株)：演劇劇場内イヤホンガイドサービス
- 歌舞伎座 (株)：歌舞伎座その他事務所・店舗の賃貸
- 新橋演舞場 (株)：新橋演舞場その他の事務所・店舗の賃貸
- インターローカルメディア (株)：放送法による委託放送業務及びその他の放送一般事業

株式の状況

発行可能株式総数

300,000,000株

発行済株式の総数

139,378,578株（自己株式1,053,674株を含んでおります。）

株主数

20,319名（前事業年度末比525名減）

大株主（上位10名）

株主名	所有株式数	持株比率
株式会社歌舞伎座	4,802千株	3.47%
株式会社みずほコーポレート銀行	4,500	3.25
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,344	3.14
セコム株式会社	3,700	2.67
三井物産株式会社	3,700	2.67
株式会社大林組	3,600	2.60
大成建設株式会社	3,444	2.49
清水建設株式会社	3,390	2.45
西松建設株式会社	3,288	2.38
株式会社TBSテレビ	2,542	1.84

(注)持株比率は自己株式(1,053,674株)を控除して計算しております。

株主優待基準

【株主優待権利確定日および優待期間】

権利確定日	優待期間
毎年2月末日	毎年6月～同年11月
毎年8月末日	毎年12月～翌年5月

※6ヶ月ごとに株主様へ優待内容通知をご送付いたします。

【映画優待 ポイント付与基準】

保有株式数	6ヶ月優待ポイント数 (1ヶ月使用可能ポイント数)
1,000株以上	80ポイント (40ポイント)
2,000株以上	160ポイント (60ポイント)
3,000株以上	200ポイント (80ポイント)
5,000株以上	280ポイント (100ポイント)
8,000株以上	400ポイント (120ポイント)
10,000株以上	480ポイント (140ポイント)

※「6ヶ月優待ポイント数」とは、優待権利期間の6ヶ月の間に使用できるポイント総数です。

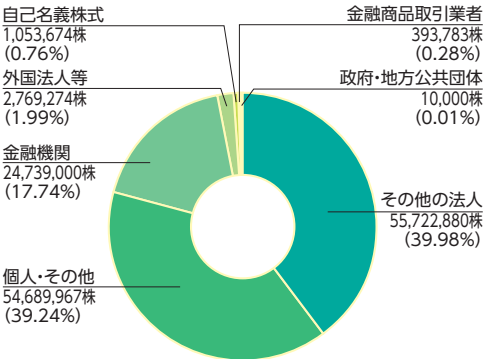
そのポイント総数の内、1ヶ月に使用できる上限のポイント数を示しているのが、「1ヶ月使用可能ポイント数」です。

※1名様につき、10ポイントが必要となります。なお、「新宿ピカデリー」のみ1名様20ポイントが必要となります。

新宿ピカデリーは公開の2週目（8日目）以降から利用可能です。「プラチナシート」・「プラチナルーム」はご利用になれません。

※3D映画は、1名様につき15ポイント（通常10ポイントの1.5倍）で、ご観賞可能となります。（「新宿ピカデリー」のみ30ポイント）

【所有者別株式分布表】



株主メモ

事業年度 3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会 毎年5月下旬
株主確定基準日 定時株主総会 2月末日
期末配当 2月末日
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同 連絡先 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)
インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>
単元株式数 1,000株
公告掲載URL <http://www.shochiku.co.jp/company/ir/>
(ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法によって公告いたします。)

【お知らせ】

ご注意

- (1) 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記の特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

●1単元（1,000株）未満の株式をお持ちの株主様へ〔買増・買取制度のご案内〕

当社株式の証券市場での取引は1単元＝1,000株となっているため、単元未満株式を市場で売買することはできません。このため、当社では、1単元（1,000株）に不足する株式を買い増して、1,000株にまとめることができる「単元未満株式の買増制度」、1,000株に満たない株式を当社へ売却することができる「単元未満株式の買取制度」をご用意しております。

お手続きの方法

- ①当社株式を証券会社の口座をお持ちの株主様
お取引の証券会社へお問合せください。
- ②上記以外、特別口座をお持ちの株主様
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル) へお問合せください。

●特別口座で株式をお持ちの株主様へ

特別口座に記録されている株式は、株式市場で売買できません。株式市場で売買するためには、証券会社等に口座を開設し、特別口座から証券会社等の口座へ株式をお振り替えいただく必要がございます。

お手続きは、上記の三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部へお問合せください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。